

御坊市新庁舎建設事業  
設計・施工者選定公募型プロポーザル  
選定結果報告書

令和2年7月

御坊市新庁舎建設事業設計・施工者選定委員会

### 1. 本プロポーザルの実施目的

御坊市新庁舎建設事業に係る実施設計及び施工業務を発注するにあたり、高い能力を持ち、かつ本事業に対する深い理解度、本市の立場に立った取組方針や提案力、適正な価格提案などを総合的に評価し、本事業に最適な人と組織を選定することを目的として公募型プロポーザル方式を採用しました。

### 2. 審査体制

選定にあたっては、専門的見地からの考察に加え、公平性・透明性を確保するため、専門分野の委員も参加する「御坊市新庁舎建設事業設計・施工者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置しました。

### 3. 選定委員会委員

#### (1) 令和元年12月5日から令和2年3月31日まで（7名）

	氏名	役職等
委員長	龍神 康宏	御坊市副市長
副委員長	小池 信昭	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 教授 (津波・海岸工学等)
委員	板橋 弘幸	一般財団法人和歌山県建築住宅防災センター 業務部長 (建築)
委員	大川 泰輔	御坊市総務部長
委員	米倉 守	御坊市市民福祉部長
委員	小瀬 武伯	御坊市産業建設部長
委員	大崎 恵司	御坊市議会事務局長

#### (2) 令和2年4月1日以降（8名）

	氏名	役職等
委員長	龍神 康宏	御坊市副市長
副委員長	小池 信昭	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 教授 (津波・海岸工学等)
委員	板橋 弘幸	一般財団法人和歌山県建築住宅防災センター 業務部長 (建築)
委員	田中 昭	御坊市総務部長
委員	米倉 守	御坊市市民福祉部長
委員	小瀬 武伯	御坊市産業建設部長
委員	松本 良平	御坊市議会事務局長
委員	中本 正之	御坊市産業建設部都市建設課長

#### 4. 委員会経過

選定委員会	開催日	内容・特記事項
第1回	令和2年 1月24日(金)	設計・施工者選定方針について協議
第2回	2月21日(金)	設計・施工者選定方針の決定
第3回	3月13日(金)	プロポーザル実施要領、評価基準等の決定
第4回	5月27日(水)	VE提案項目の可否について協議
第5回	7月9日(木)	二次審査参加者数の報告、二次審査評価方法の確認
第6回	7月30日(木)	プレゼンテーション及びヒアリングの実施、最優秀提案者と次点提案者を選定

#### 5. プロポーザル参加者

4者

#### 6. 審査内容

##### (1) 一次審査 (配点：10点)

事前に定めた評価基準に基づき、参加者及び本業務予定技術者等の実績・体制について事務局が評価点を算定しました。

参加表明のあった4者全てが二次審査対象者に選定されました。

一次審査の評価点は、二次審査の評価点確定後に選定委員に報告しました。

##### (2) 二次審査 (配点：70点)

事前に定めた評価基準に基づき、業務全般、設計業務及、施工業務の分類ごとに参加者が技術提案し、選定委員との対面によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施して、提案内容を評価しました。

業務全般に関しては「事業実施体制」「品質・コスト・工程管理の体制と手法」「地域振興・地域経済への貢献」の3つの提案項目、設計業務に関しては「より魅力的・合理的な施設設計」「御坊市らしい施設設計」「安心・安全の災害対策拠点としての実施設計」「環境にやさしく、ライフサイクルコスト低減が図られる施設設計」の4つの提案項目、施工業務に関しては「環境特性に配慮した施工計画等」「施工段階での品質・工程・リスク管理の手法」「アフターフォロー・維持管理」の3つの提案項目について、項目ごとに評価点を算定しました。

##### (3) 提案価格審査

二次審査の評価点確定後に提案価格見積書を開封し、評価基準に基づき事務局にて提案価格評価点を算定し、選定委員に報告しました。

## 7. 選定結果

一次審査、二次審査、提案価格審査の合計評価点により、次のとおり選定しました。

選定結果	参加者名	合計評価点
1位：最優秀提案者	前田建設・久米設計特定建設工事共同企業体	78.0点
2位：次点提案者	フジタ・東畑特定建設工事共同企業体	75.5点
3位	非公表	59.3点
4位	非公表	56.9点

## 8. 審査講評

最優秀提案者となった「前田建設・久米設計特定建設工事共同企業体」は、基本設計をよく理解したうえで本市の地域特性や特に浸水区域内の現地建て替え事例という課題を踏まえ、各提案項目に対して優れた提案をしました。具体的には、業務全般において、市の要望・意図を理解する対話期間を十分に設けたうえで品質・コスト・事業工程を管理するための具体策が提案されていました。設計業務については、津波を受ける可能性のある1、2階は漂流物の衝撃荷重に耐えられるRC造及びSRC造を採用しながら、3階以上をS造とすることで柱本数を減らして大スパンとし、将来のプラン変更が可能な自由度の高い執務フロアが提案されていました。さらにこの点においてはコストダウンにも十分貢献しています。また、火災時に天井に畜煙して煙の降下を遅らせるとともに、天井の落下を防ぐ仕組みで災害時の避難時間を確保する提案、ひび割れ及びタイルの落下が生じない外装計画の提案、「宮子姫物語」等をコンセプトとしたエントランス空間などの内観デザインの提案、排煙規定の免除により議場など各室の内装に紀州産材を活用する提案などの工夫が見られました。施工業務については、「梅雨前線・台風の影響」「近接する現庁舎居ながら施工」「周辺市道等は狭あいかつ周辺に小中学校、幼稚園が多く通学路として利用」「現庁舎東側の水路」といった計画地周辺の特徴を把握したうえでの施工計画や、工期厳守で高品質の新庁舎を提供するための手法、コストコントロールの方策などで優れた提案がありました。また、一次審査（実績・体制評価）、提案価格審査においても高評価を得ました。

次点候補者となった「フジタ・東畑特定建設工事共同企業体」は、合計評価点では最優秀提案者に及びませんでした。基本設計をよく理解したうえで本市の地域特性や課題を踏まえ、各提案項目に対して完成度の高い提案内容でした。具体的には、独自技術を活かした合理的な施設設計、災害対策拠点に相応しい機能、地域環境と市民の安全に配慮した施工計画と確実な管理体制、竣工後のフォローアップなど、意欲的で優れた提案がなされていました。

その他の参加者からも、それぞれの豊富な経験と技術に基づいた多様な提案をいただきました。

結びに、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やし、真摯に努力いただきました各提案者に対し、心から感謝申し上げます。

また、最優秀提案者となった「前田建設・久米設計特定建設工事共同企業体」におかれましては、持てる技術力を最大限に発揮され、市民や市の意見を十分に反映させながら業務遂行にご尽力されることを切に期待します。

御坊市新庁舎建設事業設計・施工者選定委員会